



■金沢港大浜地区国際物流ターミナル拡張部分完成

大水深岸壁（水深13m、延長260m）がH20年11月に水深12mで暫定供用され、さらに大型貨物船の2隻同時接岸を可能とするため国が岸壁の延伸（140m）を、県がふ頭用地の拡張を実施し、昨年9月25日に完成式を行いました。

また、大型クルーズ船の接岸も可能となり、昨年10月2日には、米国の豪華客船「セレブリティ・ミレニアム」（90,963t、全長294m、定員2,034人）が接岸しました。（写真）乗船客は、兼六園や近江町市場などへ市内観光に繰り出し、金沢の心ゆくおもてなしを受け満足した様子でした。

- 1** 新年の挨拶
年頭挨拶
■北陸地方整備局長 中神 陽一
- 2** 年頭ごあいさつ
■富山県土木部長 加藤 昭悦

- 3** 視点
「多様性」がうむ「進化」
■新潟県 土木部 都市局長 富田 陽子

- 5** 地域の動き
誰もが気軽に集い、賑わいの生まれる施設づくり
(仮称) 内野地区集会施設
■新潟市 建築部 公共建築第1課

- 7** 技術レポート
計画決定から20年を経て、通水へ
梯川分水路通水記念式
■金沢河川国道事務所

- 11** 波浪による損傷状況と対策の実施及び維持管理計画
北陸自動車道 親不知海岸高架橋における波浪対策について
■東日本高速道路(株)新潟支社 信越工事事務所

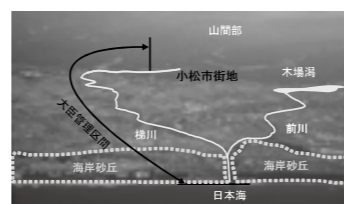
- 15** i-Construction～砂防編～
急峻な山岳地帯で活用したICT土工 **i-Con**
■(株)干場建設

- 19** 並目・細目グレーチング対応の跳ね上がり防止金具
グレーチングストッパー & SP の各種開発と設置事例
■丸運建設(株)

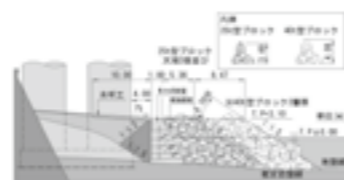
- 23** 環境とコストに配慮した遊水地の整備に向けて
発生土による良質な築堤材料の製作について
■新潟県三条地域振興局地域整備部



交流スペース吹抜 ▶P.5



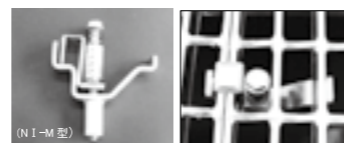
梯川分水路の位置図 ▶P.7



消波ブロック 補強概略図 ▶P.11



TINデータにした3D画像 ▶P.15



グレーチングストッパー
NI-M型金具と設置状況 ▶P.19



遊水地空撮写真 (H29.11.10撮影)
▶P.23

- 27** シリーズ
現場技術者の「知得」
工事・業務における生産性向上のための各種取組
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課
- 29** 下水熱を熱源とした農業用空調施設の導入
■新潟市 下水道部 東部地域下水道事務所 秋葉下水道課

- 31** 職場紹介
高める、つくる、そして、支える。
株式会社熊谷組の紹介
■(株)熊谷組北陸支店
- 33** 道路を通じて、日本の未来を支えています
■島屋建設(株)

- 35** 先輩なう！
「人の心に残るモノを造る誇り」
■新発田建設(株) 建築部建築工事課 山崎真司さん

- 37** 新技術情報
NETIS登録技術
■平成28年度登録技術
- ・コールドパーミックス
【登録番号：HR-160003】
東亜道路工業(株)
 - ・UAV(無人航空機)と三次元レーザスキャナによる空間計測システム
【登録番号：HR-160004】
(株)トップライズ

i-Con 「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは？
「i-Construction」関連記事

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。



工事の生産性向上説明会状況(11月28日 金沢会場) ▶P.27



導入した下水熱ヒートポンプ ▶P.29



熊谷組北陸支店の入居するMHM金沢ビル ▶P.31



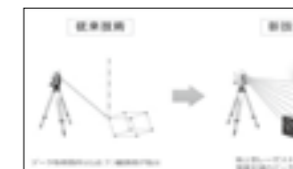
遠赤外線式融雪装置 一解けルモー ▶P.33



社内検査をする山崎真司さん ▶P.35



コールドパーミックス ▶P.37



UAV(無人航空機)と三次元レーザスキャナによる空間計測システム ▶P.37

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp